

小羊・神は都の中の御座の上におられる

聖書：啓 4:2-3． 22:1-5． 21:23． エゼキエル 1:22， 26-28

I．「小羊・神」は都の中の御座の上におられます——啓 4:2-3． 22:1-5． 21:23：

- A．「神と小羊の御座」は、神と小羊に一つの御座があることを見せており、神と小羊が一(小羊・神、すなわち贖う神、神・贖う方)であることを示しています——22:1． 4:2-3。
- B．永遠において、御座に座しておられる神は、わたしたちの贖う神であり、その方の御座から命の水の川が流れ出て、わたしたちの供給と満足となります。
- C．これは、いかに三一の神(神、小羊、命の水によって象徴されるその霊)が、彼の頭首権(御座の権威において暗示される)の下で、ご自身を彼の贖われた者の中へと分与して、永遠に至るかを記述しています。

II．御座は、わたしたちのクリスチャン生活の中心です：

- A．わたしたちの日常生活、家庭生活、結婚生活、職業生活、召会生活において、中心は神の御座でなければなりません。あらゆることは彼の頭首権に服従しなければなりません。
- B．わたしたちは毎朝、起きた後こう言う必要があります、「主よ、わたしがあなたをわたしの主とする新しい日のゆえに、あなたに感謝します。わたしは終日、あなたの頭首権の下に服従します。主よ、わたしの生活の中であなたの御座を設立してください。わたしの存在の中心にあなたの御座を設立してください。主よ、わたしの一日のすべてとわたしの日常生活をあなたの御座の下にもたらしってください」。わたしたちは毎朝、そのような祈りを三一の神にささげるなら、その瞬間から、生ける水の流れをわたしたちの内側に持ちます。
- C．わたしたちが経験において三一の神に服従し、彼をわたしたちのかしらとするときはいつも、わたしたちの内側にある流れを享受します。川は、計画した神と共に流れており、贖った小羊と共に流れており、今やすべてを含む、手順を経た、命を与える霊であるその霊と共に流れています。
- D．彼の頭首権の下で、わたしたちは命の供給と命の道を伴う命の流れを享受します。命の流れの中で、わたしたちは彼に仕え、彼を見て、彼と共に王として支配します——22:2-5。

III．エゼキエル書第1章が啓示しているのは、わたしたちの霊的経験における最高点が、澄み渡った空と、その上にある神の御座を持つことであるということです。この点に到達することの意味は、あらゆる事において、わたしたちが神に首位を与え、彼の権威と行政に完全に服従するということです——エゼキエル 1:22， 26：

- A．生き物の頭の上にある霊的な空は水晶のように明るく、畏るべき水晶の大きな大空のようです。さらに、この空は広がっており、水晶のように安定して、変わることがありません——22 節。
- B．そのような状況の中で、わたしたちと神との間には何もなく、わたしたちと互いとの間にも何もありません。わたしたちは主と、また互いと徹底的で明確な交わりを持ちます。
- C．これは、神と人に対して何のともめもない、純粋な良心を維持することを必要とします。わたしたちの空の物語は、わたしたちの良心の物語です——使徒 24:16。
- D．御座はキリストの支配する臨在です：
 - 1．主の臨在は常に彼の御座と共にあります。主の御座は第三の天にあり、またわたしたちの霊の中にあります——啓 4:2-3． ヘブル 4:16． 参照、Ⅱテモテ 4:22：
 - a．天の御座に座しているキリストは(ローマ 8:34)、今やわたしたちの中にも(10 節)、

すなわちわたしたちの霊の中にもいます(Ⅱテモテ 4:22)。この霊は、神の住まいがある所です。

b. ベテル、神の家、神の住まい、すなわち、天の門において、キリストははしごであり、地を天に結び付け、天を地にもたらしめます——創 28:12-17、ヨハネ 1:51。

c. わたしたちの霊は今日、神の住まいである場所ですから、この霊は今や天の門であり、そこにおいてキリストははしごであって、わたしたち地上の人を天に結び付け、天をわたしたちにもたらしめます。

d. ですから、わたしたちが霊に戻る時はいつでも、天のはしごとしてのキリストを通して、天の門を通して入り、天にある恵みの御座に触れます。

2. 水晶のように澄み渡った大空の上の御座は、わたしたちがクリスチャン生活と召会生活の中で澄み渡った空を持つときはいつも、御座の支配の下にすることを示します。召会の中の権威は、澄み渡った空の上の御座です。

3. 御座は、神がわたしたちを王として支配するためだけでなく、神が彼の永遠の定められた御旨を達成するためでもあります。わたしたちが霊的な生活の中で御座を持つなら、神はわたしたちを支配するだけでなく、わたしたちの中で、わたしたちと共に、わたしたちを通して、彼の定められた御旨を完成します——ローマ 5:17, 21。参照、マタイ 28:18-20。

4. 御座はサファイア石の外観を持っています。サファイア石は青色であり、キリストの支配する臨在の、天的な状況、状態、雰囲気を表徴します——出 24:10。

Ⅳ. エゼキエル書第 1 章は、御座の上の方は人のように見え、しかし彼にエホバの栄光の外観があることを啓示しており、それは御座の上に座している方が、神と人の両方であることを示します。この方は神・人であるイエス・キリスト、神と人のミングリングです——エゼキエル 1:26, 28:

A. イエス・キリストは神全体であり、肉体と成って人と成りました。彼は人の性質を持ち、人として生活し、死に、復活し、昇天しました。今や御座の上の方として、彼はなおも人の子です——ヨハネ 1:1, 14。6:62。使徒 7:56, 59-60。

B. ですから、主イエスの昇天の後、御座の上に人がいるのです。千年期と新しい天と新しい地において永遠にわたって、なおも御座の上に人がいます——マタイ 19:28。啓 22:1, 3。

C. 神と人との関係における神の奥義的な意図は、ご自身を人とミングリングし、こうして人と同じになり、人を神格においてではなく命、性質、表現において神であるのと同じにすることです。人が神のかたちに創造されたのは、神を表現し、神に代わって支配するためでした——創 1:26-28。参照、イザヤ 14:12-14:

1. 御座の上の方と四つの生き物がいずれも人の外観を持っていることは、地上の四つの生き物が、御座の上の方の表現であることを示します。この表現は人性における神の現れです——エゼキエル 1:5。Ⅰテモテ 3:15-16。

2. 天の神はご自身を人の中へと造り込むことによって、彼の表現のために地上の人を得ることを願われます。さらに、神の意図は、人の上で働いて、人が御座の上にいるようにすることです——エペソ 3:16-21。啓 3:21。5:10。20:4。22:5。マタイ 19:28。

3. 主イエスは開拓者、先駆者として、道を切り開いて栄光の中へと入り、御座に座しました。そしてわたしたち、彼の多くの兄弟たちは、今や彼に従っています——ヘブル 2:6-12。啓 3:21。22:5。

Ⅴ. エゼキエル書第 1 章は、御座の上の人の外観には二つの面があることを言っています。彼の腰から上にはこはく金の外観があり、彼の腰から下には火の外観があります——エゼ

キエル 1:27 :

- A. こはく金は、光り輝く金属であり、金と銀の合金です。金は神の性質を表徴し、銀は贖いを表徴します。こういうわけで、こはく金は、金と銀の要素から成り、小羊・神、すなわち贖う神を表徴します——4 節。
 - B. 人の腰から頭までの上の部分は、感覚の部分であり、人の性質と性情を表徴します。主イエスの性質と性情によれば、御座の上の主イエスにはこはく金の外観があり、贖う神を表徴します。
 - C. 人の体の下の部分は行動のためです。腰から下の火の外観は、行動における主の外観には神の燃やし聖別する力があることを表徴します。
 - D. 主はわたしたちに臨むとき、火のように来て照らし、探り、燃やします。そして火を通して、彼はわたしたちに対して光り輝くこはく金となります。そしてわたしたちは贖う神の輝く表現で満たされます。
 - E. 焼き尽くす火としての主(ヘブル 12:29)によって、すべての消極的な事物がわたしたちから焼き尽くされた後、わたしたちの中に残るものはこはく金、すなわち贖う神です。
- VI. エゼキエル書第 1 章が言っているのは、御座の上に座している人の周りに輝きとしての虹があり、それが御座の上の主の周りの光輝また栄光を表徴するということです——エゼキエル 1:28 . 啓 4:3 :
- A. ノアの時代、雲の中の虹は、神が信実であり、人とあらゆる生き物との彼の契約を守ることのしるしであって、決して再び人類を洪水で滅ぼさないことを表徴しました——創 9:13。
 - B. 虹は三つの基本的な色、すなわち赤、黄、青から生み出されるものと考えられます。赤は火の色であり、神の聖を指しています。黄はこはく金の色であり、神の栄光を表徴します。青はサファイアの御座の色であり、神の義を表徴します——詩 89:14 :
 - 1. 神の義、聖、栄光は三つの神聖な属性であり、罪人を神に近づけないようにします——創 3:24。
 - 2. しかしながら、キリストが来て、十字架上で死に、神の義と聖と栄光の要求を満たし、復活させられました。彼は今やわたしたちの義と聖と栄光です——I コリント 1:30。
 - 3. わたしたち信者は今やキリストの中にあるので、神の目に、義と聖と栄光としてのキリストの外観を帯びています。これは虹の外観であり、神の信実を証しし、わたしたち墮落した者を容赦し救い、罪人に対する彼の裁きから免れさせます。
 - 4. 新エルサレムの都の土台には虹の外観があり(啓 21:19-20)、その中でわたしたち、救われた者の集大成は虹となり、神の義と聖と栄光の輝きを反映し、わたしたちの神が義で信実であることを永遠に証しします。
 - 5. エゼキエル書第 1 章で描写されているように、クリスチャン生活と召会生活はそのような虹において完成します。その時、神の永遠のご計画は成就されています。